

鴨川市ふるさと回帰支援センター連絡協議会への入会について  
(お願い)

本市は、農業従事者の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の増加や離農による農村集落機能の低下が懸念される中、地域住民と一体となって都市との交流により地域農業の振興を図るべく「鴨川市リフレッシュビレッジ事業」に取り組んで参りました。

結果、「みんなみの里」や「大山千枚田」には多くの都市住民が訪れて活況を呈し、特に棚田オーナー制度は、「鴨川市棚田農業特区」に認定されるほどの高い評価と期待を集めているところです。

こうした都市と農村の共生・対流に向けた取組みの過程で、移住して農業を志す人々や鴨川の環境に憧れて移住を希望する人々が増加する傾向にあることから、平成16年4月に市内の関係団体等と連携し「鴨川市ふるさと回帰支援センター連絡協議会」を設立し、農業者・農村集落に対する啓発活動や、定住又は中長期滞在希望者に対し情報提供を行ってきたところであります。

しかしながら、都市生活者に向けて「ふるさと回帰」を促す運動が本格化する中で、団塊世代を中心とした健康で安らぎのある生活を希望するニーズ、仕事や子育て問題を抱える30代を中心とした移住希望者のニーズ、二地域居住を希望する人々のニーズなど、農山漁村における過ごし方は多種多様となってきております。

このような中、移住促進に対する取組み・働き掛けは、NPO団体ごとで行われたり、移住者の個人的なネットワークで行われてきておりますが、今後は地域住民と行政が本格的に協働して、医療・福祉、産業分野など衣食住全般に対して支援をしていくことが重要であると考えております。

これらを踏まえ、鴨川市ふるさと回帰支援センターの更なる機能の充実・受入れ体制を整備強化し、多様なライフスタイルの実現に向けての農山漁村づくりを目指し、交流人口の増大・定住促進を図り、地域の活性化を図ることを目的とするものです。

つきましては、趣旨にご理解いただき、会員として「加入」していただきたくお願いするものです。

平成19年8月吉日

鴨川市ふるさと回帰支援センター連絡協議会

会 長 本 多 利 夫